

独立行政法人 造幣局



JAPAN MINT



造幣局の業務

- ・ 貨幣の製造
- ・ 勲章、褒章、金属工芸品の製造
- ・ 貨幣セット等の販売
- ・ 貴金属製品の品位証明
- ・ 研究開発、海外業務

◆ 造幣局について

造幣局では、国民生活の基盤となる貨幣の製造等業務を行っています。行政執行法人として、貨幣製造という国の関与が不可欠な公的業務を、民間的手法を用いてマネジメントしています。製造業務を中心として、販売業務や偽造防止等の研究業務も行っており、一般官庁とは一味違った面白さや魅力が特徴です。

○全体職員数（R5.1.1 時点）756 人
（一般職 257 人（うち行政系 131 人、技術系 126 人）、技能職等 499 人）

◆ **採用後の処遇** 採用後、約 2 ヶ月間の新規採用職員研修を経て、各部署に配属されます。行政系職員は総務部門や販売部門を中心に、技術系職員は製造管理部門や工場部門を中心に、各種の事務業務に従事します。異動周期は 2～3 年で、様々な業務を経験します。勤務地は、**本局（大阪）**、**さいたま支局**、**広島支局**で、キャリアアップに応じて転勤することがあります。

一般職（大卒）：行政（R4年度採用）

私は現在、広報業務に従事し、造幣局 HP の更新や外部問合せ対応等を行っています。日々の業務において、対処できないこともあります。周囲の方々が丁寧にサポートしてくださり、非常に居心地の良い職場だと感じています。

造幣局といえば、大阪本局の「桜の通り抜け」で有名ですが、その他にも勲章の製造や貨幣セットの販売、海外業務、工場や博物館の見学など業務内容は多岐にわたります。一般的な事務だけでなく、造幣局ならではの様々な業務に携わることができる点が造幣局の魅力の一つではないかと思います。



先輩からのメッセージ

一般職（大卒）：機械（H31年度採用）

私は現在、貨幣製造工程の初工程である、金属を溶かす溶解工程に携わっており、地金の数量管理や、配合成分の調整、製造設備の維持などを行っています。

造幣局では、溶解工程から検査工程まで、一貫して製造が行える様々な機械等設備を保有しており、安定稼働の維持に努めています。設備保全、改良、新技術の開発等、日々の業務を通じて、技術的な知識等を学んでいます。

国民の皆さんが使用する貨幣の製造を、技術系職員として支えることができるのが、造幣局の魅力だと思います。



採用に関する問い合わせ先

本局総務部人事課 〒530-0043 大阪市北区天満 1-1-79

Tel 06-6351-5158

さいたま支局総務課 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-190-22

Tel 048-645-5893

造幣局HP：<https://www.mint.go.jp/>

（採用ページ：<https://www.mint.go.jp/about/recruit>）

